

【2026 年度/専門科目領域/人間コミュニケーション学科】

15	まとめを行う。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4
試	定期試験は行わない。 達成度評価・評価のポイントを参照すること。			

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	35	25	0	40	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	5	0	0	5	10
	思考・推論・創造する力	0	5	5	0	5	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	5	5	0	5	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	15	10	0	10	35
	問題を発見・解決する力	0	5	5	0	5	15

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
レポート	①	✓	最終レポートを提出する。授業内容を理解しているか、自分で考えたことを自分の言葉で書いているか等で評価する。詳細は授業内で伝える。	レポートはコメントを伏して返却する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
成果発表	①	✓	街中等を歩いて自分なりに気付いたこと、発見したことをスマホに収めまとめる。正解を求めるのではなく、自分の視点で自分で考えたことをまとめているかについて評価する。詳細は授業内で伝える。	コメントを付して返却する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
その他	①	✓	毎回授業の終わりにリアクションペーパーの提出を求める。授業を通して発見したこと、ワークを実施して感じたこと等について、自分自身で考えたことについて自分の言葉で書くこと。ワークへの積極的な取り組みも併せて評価する。	次回の講義の始めに、前回のリアクションペーパーについてのコメントし解説する。ワークについては、実施後コメントを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	教育相談室及び発達支援、クリニック等の現場経験があり、臨床心理士及び公認心理師として 25 年の臨床経験を有する。併せて保育士資格を有する。
実践的授業の内容	臨床心理士及び公認心理師としての専門性とこれまでの経験を講義に活かしながら、子どもと保育に関する基本的知識を教授する。
そ の 他	生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。